

委員会のおうぎ

総務

ケーブルTV4局化 設備工事へ予算



総務常任委員長
もりほろし
森 治史

にはこの方法が一番と思うと
のことです。

■臨時災害FM放送局（可
搬式）開設 1千万円
災害時に災害対策本部とな

●一般会計補正予算

■民間放送増設へ

650万円

ケーブルテレビに朝日系
民間放送の増設の現実性が
見えてきたことで計上され
ました。現在のテレビ加入
率は41%で年間の収入額は
2400万円ですが、一局
の増加は大方地区の加入増



災害対策本部となる中央保
育所（上）と黒潮町保健福祉支
援センターこぶし（右）

また光ケーブルが切断さ
れた時は、家庭の告知端末
器（乾電池があれば）のF
Mチャンネルを合わせれば
災害の放送が聴けるとのこ
とです。

■公有財産購入費

2263万円

新庁舎建設用地と都市防
災避難道路用地を一括購入
するための費用が計上され
ました。これにより新庁舎
移転関係用地6・9haの内、
用地取得進捗率は40%にな
るとのことです。

■人事管理費 730万円

当初予算へ2千万円を組
んでいましたが、臨時職員
雇用について延べ人数で月
68〜90人となっており、今
後の3ヶ月が月90人（延べ
人数）の雇用になることで、
不足になる社会保険料を計
上するものです。

■繰越明許費

6億4700万円

南海地震対策事業費の内、
5億2500万円の佐賀の避
難タワー整備については、工
事が平成27年度になることで
全額を繰越しするものです。

委託業務3千万円と避難道
工事9200万円の内、7件
は平成26年度内に契約をし
て、前払金として40%を現年
度分で業者へ支払い、残りの
60%を平成27年度へ繰越しを
します。

●情報センター事業特別 会計補正 459万円

公共事業に伴う光ケーブル
の移転が必要となり、工事発
注者（国、県、町）からの補
償金を11月から3月までの見
込で計上し、それによる工事
についてはNTTビジネスソ
リューションに発注をすること
です。